

③O. P. P. の推進について取組み事例（地域を束ねる、同業他社を束ねる、貸切業者を束ねる）

- ・マスタープラン実現について取組み事例（調達物流PF、販売物流PF、業種業態特化型PF、地域物流PF）
- ・ハコベルサービスの取組み事例（拡販に向けた取組み）

|                  | 日ノ丸西濃  | 埼玉西濃   | 西濃エクスプレス  | S & N   | 朝日梱包   |
|------------------|--|--|---|---|--|
| 新たに取組みした内容（テーマ）  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・山陰に拠点を持たない同業他社の配達請負</li> </ul> <p>調達・保管・販売のトータル物流提案</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・同業他社との共業（混載便）</li> </ul> <p>地域ごとにまとめて同業に引き渡すチャーター便にならないロット物や小さくまとまった品物を地域ごとにまとめて二次配送する</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・メガEXP便運用において、同業他社との協業によって集配業務を一部協業化し、また他社の持つ商品をメガEXP便に取り込むことで、地域ネットワークの強化と輸送力の向上を図る</li> </ul>  | <p>【地域物流】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①荷主側の捻出が厳しい輸送費用の抑制</li> <li>②預かりタイヤ配送、回収業務の同地域を担当する同業他社をまとめ、積載効率を高めることで繁忙期の車両を増加させることなく円滑な業務を行う</li> </ul> <p>【ハコベルサービスの取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本社含む9拠点にてアカウント取得中</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・同業他社を束ねる</li> </ul> <p>同業他社と共同で案件の獲得を行う大口案件になると作業期間が短く、一時的に出荷量が増加する為、オーバーフローが発生し、履行期限を超過する可能性がある</p> |
| お客様の声（Pain お困り事） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・山陰に拠点が無い為、利用する業者も複数あり、品質も不安定</li> </ul> <p>人手不足により物流の効率化が進まない</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・確実に納品日及び時間指定が守られる</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中ロット商品は繁忙期や出荷方面によって、車両確保が困難のことがあり、年間を通すと不安定感があることは否めない</li> <li>・異形物や、軽梱包商品の輸送では、車両手配・高額運賃・商品事故リスク・納期遅延などに問題を抱えている</li> <li>・2024年問題で今後車両確保や長距離輸送が益々困難になってくることが懸念されている</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>①荷主工場には在庫ストックスペースがなく倉庫を利用せざるを得ない</li> <li>②繁閑の波動に車両確保が厳しく、それぞれの物量の落差を平準化し車両台数の抑制をしたい</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・履行期限の変更は難しい</li> </ul> <p>作業期間が長い⇨コスト増の為、作業期間を短縮したい</p>  |
| お客様に提供できたGain    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・物量に応じた混載・貸切の一貫輸送</li> </ul> <p>SDによる定時配送／輸送品質提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物流／作業の効率化</li> </ul> <p>調達～保管～販売までの一連の業務をアウトソースしていただき当社が窓口になる事で、NOストレスな物流の提供</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間指定ができ、荷物が傷まない</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・繁閑の差別なく、安定・安全輸送をご提供</li> <li>・同業他社の車両手配困難さからの緩和と、輸送の効率化</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>①配送終了した車両の車庫戻り途上に納品先が存在するため、運賃を定額収受することなく80%の費用で提供することで貢献</li> <li>②定時配送「点」の輸送から「面」の輸送を実現することで可能</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・物量を分散する事で、履行期限内に作業が完結</li> </ul>   |
| 効果・実績について        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・JPロジ 10,000千円／月</li> <li>マキタ 1,000千円／月</li> </ul> <p>6月中旬輸入調達より始動</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・月間2回だが、繋げていく</li> </ul>  | <p>現在業者は選定中ではあるが、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利便性の提供による同業他社との優位性の確立</li> <li>・潜在する輸送ニーズの掘り起こしと、パートナー取引の拡大の効果が見込まれる</li> </ul>   | <p>【地域物流】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①②ともに荷主からだけでなく参画した同業他社からも継続の意思表示あり</li> </ul> <p>【ハコベルサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アカウント取得後、まずは社内にて説明会を実施し、活用していく</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・突発的な出荷量増加が緩和されることで、労働時間の短縮に繋がる</li> </ul>  |
| ポイント             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・弊社が持つ、ネットワーク・品質（安全・リードタイム）</li> </ul> <p>営業展開を図りたい中、物流の効率化が進まないお客様に対し、当社が一手に引き受ける事で、本業に専念出来た</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小口発送には重量制限があるが、混載便だとまとまった品物や時間指定ができる</li> <li>・地域ごとに組み合わせができ有効的な配車ができる</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の拠点の集配能力の強化と環境整備</li> <li>・集配拠点（デポも含む）の増設</li> <li>・同業他社との接点機会の拡大</li> <li>・効率化にむけてのシステム改修</li> </ul>   | <p>【地域物流】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域による配送先、車庫等、どのコースをトラック（同業他社）がルートとしているか、を把握することで車両を増加させることなく、費用を抑制し荷主負担を軽減</li> <li>・規模が大きくなればCO2削減効果が見込める</li> </ul> <p>【ハコベルサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車両手配における属人化の解消</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大口案件を1社で請け負うと、入荷商品の荷降ろし待機や出荷後のオーバーフローが発生し、結果的にはお客様にご迷惑をお掛けしてしまう事を回避する</li> </ul>                     |